

授 業 概 要

【授業科目名】看護倫理

【学 年】2年次

【単位数】1単位

【時間数】15時間（1回2時間）

【担当者】専任教員

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 看護者の倫理規定の意味を理解する。
2. 看護ケアにおいて生じる倫理的問題を認識・分析し、解決策を考える。
3. 異なる価値観や選択肢をともに検討する基礎的能力を養う。

回	授業内容	授業方法
1	倫理とは 事例検討①	講義
2	看護倫理とは	講義
3	看護倫理とは 事例検討②	GW
4	倫理綱領	講義
5	分析に必要な基礎知識	講義
6	分析に必要な基礎知識 事例検討③	GW
7	分析に必要な基礎知識 事例検討③	GW
8	試験	

【テキスト・参考書】

『看護倫理』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 診療に伴う看護技術

【学 年】 2 年次

【担当者】 専任教員

【単位数】 1 単位

【時間数】 30 時間（1 回 2 時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

《与薬》

1. 薬物療法の意義・目的を理解する。
2. 安全かつ正確に実施するために必要な知識・技術を習得する。

《診察・検査・処置における技術》

1. 検査の意義と看護師の役割理解し、検査の種類と注意点を学ぶ。
2. 診察・検査実施時の基礎的な看護技術を習得する。
3. 検査実施時の介助方法および検体の採取方法を習得する。

回	授業内容	授業方法
1	薬物療法とは 薬物療法の基礎知識 1) 薬と法律、薬物の管理 2) 薬物の種類 3) 薬物の吸収・排泄のメカニズム 4) 薬理作用と影響因子 薬物療法における看護師の役割 1) 看護師の役割と法的責任 2) 他職種の間わり 3) 事故防止策（6R・針刺し事故防止・事故後の対応など）	講義
2	薬物療法における援助過程と与薬の技術 1) 一般的な与薬の方法 （経口与薬・点眼・坐薬挿入・経皮・外用薬など）	講義 演習
3	注射法の種類と方法（皮下注射または筋肉注射）について 注射器各部の名称と扱い方	講義
4	アンプルカット・バイアル 注射器・注射針の取り付け 薬液の吸い方	演習
5	腕モデルを用いて皮下注射・筋肉注射の演習	演習
6	静脈内注射の方法と実施時の注意 輸液療法について 静脈内点滴注射の方法と実施時の注意及び管理 輸血管理	講義

7	腕モデルを用いて静脈内注射の演習	演習
8	モデル人形を使って静脈内留置針の留置 静脈内点滴注射の演習	演習
9	CV・IVHについて IVHの刺入部の管理のデモンストレーション	講義 演習
10	輸液ポンプ・シリンジポンプの使い方	講義 演習
11 12	1. 検査の意義 2. 検査における看護師の役割 3. 検査の種類と実施時の注意点 1) 生体検査 2) 検体検査 4. 検査の方法 1) 主な検査の目的と前・中・後の看護 ①X線 ②CT ③MRI・RI ④超音波 ⑤心電図 ⑥呼吸機能 ⑦内視鏡（胃・大腸） ⑧穿刺（胸腔・腹腔・腰椎脊髄）	講義
13 14	検査の方法 1. 尿・便・喀痰・血液検査 1) 尿検査（比重・テストテープ実施） 2) 便検査 3) 喀痰検査 4) 血液検査（検体の取り扱い） 2. 穿刺法 1) 腰椎穿刺 2) 胸椎穿刺 3) 胸腔穿刺 4) 骨髄穿刺	講義 演習
15	試験	

【テキスト・参考書】

『基礎看護技術Ⅱ』（医学書院）

『看護が見える①②』（メディックメディア）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 地域・在宅看護概論

【学 年】 2年次

【担当者】 専任教員、非常勤講師

【単位数】 1単位

【時間数】 30時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 地域・在宅看護の目的や特徴と対象について理解する。
2. 地域・在宅看護の提供機関や看護の場における活動の特徴について理解する。
3. 在宅看護過程の基本について理解する。
4. 地域・在宅療養者を支える制度や社会資源、療養の場の変化に応じた継続看護の必要性を理解する。
5. 地域・在宅看護における安全管理について理解する。

回	授業内容	授業方法
1	地域・在宅看護の目的と特徴	講義
2	1) 地域・在宅看護の世界的な動向 2) 地域・在宅看護が必要となる社会的背景や歴史 3) 地域・在宅看護の意義や目的 4) 地域・在宅看護における看護師の役割	講義
3	地域・在宅看護の対象	講義
4	1) 地域・在宅看護の対象者の特徴 2) 地域・在宅看護の対象者としての家族の特徴 3) QOL・人権の尊重（権利擁護）と意思決定支援	講義
5	地域・在宅看護の提供機関や看護の場における活動 1) 訪問看護ステーション・医療機関の訪問看護活動 2) 市町村・保健所の保健師活動（公衆衛生看護） 3) 地域包括支援センターの看護師活動 4) 高齢者施設などの看護師活動 5) 養護教諭の活動（学校保健） 6) 産業保健師の活動（産業保健）	講義 演習
6	地域包括支援センターにおける看護活動の実際	講義
7		
8	訪問看護提供のしくみと運営管理	講義
9	1) 訪問看護ステーションの運営・管理	
10	2) 訪問看護ステーションのケアプラン	
11	在宅看護過程の基本と展開 1) 在宅看護過程の概念と特徴 2) 在宅看護過程の展開方法	講義

12	<p>地域・在宅療養者を支える制度や社会資源</p> <p>1) 社会資源のとらえ方と活用方法、ケアマネジメント</p> <p>2) さまざまな医療・福祉・介護施設とサービス</p>	講義
13	<p>療養の場の変化に対応した継続看護</p> <p>1) 地域包括ケアシステムにおける看護支援</p> <p>2) 地域における多職種連携と協働</p> <p>3) 退院支援・退院調整</p>	講義
14	<p>地域・在宅看護における安全管理</p> <p>1) 在宅看護におけるリスクと日常管理</p> <p>2) 安全管理：転倒、褥瘡、虐待など</p> <p>3) 感染管理</p> <p>4) 災害への備えと対応</p>	講義
15	試験	

【テキスト・参考書】

『地域・在宅看護の基盤』『地域・在宅看護の実践』（医学書院）

『在宅看護学』（クオリティケア）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 地域看護活動論

【学 年】 2 年次

【担当者】 専任教員

【単位数】 1 単位

【時間数】 15 時間（1 回 2 時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 保健所・市町村保健センター保健師の役割や地域看護活動の特徴について理解する。
2. 二次保健医療圏の地域特性や健康問題、解決に向けるための健康教育のあり方について理解する。

回	授業内容	授業方法
1	保健所や市町村保健センター保健師が行う地域診断の展開と対象者支援 1) 地域診断の展開方法 ①保健師が行う地域情報の収集 ②地域情報の分析と判断 ③地域目標の設定と地域計画の立案 ④地域計画の実施と評価 2) 保健師が行う対象者支援 ①健康相談・保健指導 ②訪問指導 ③健康診査（健診後要観察者への指導） ④健康教育 ⑤機能訓練 ⑥地区組織活動の育成	講義
2	君津二次保健医療圏における地域診断の展開と問題解決に向けた健康教育計画の立案 1) 地域情報の収集と整理 2) 地域情報の分析と判断（アセスメント） 3) 地域の健康問題の抽出	GW
3	君津二次保健医療圏における地域診断の展開と問題解決に向けた健康教育計画の立案 4) 地域の健康問題の絞り込み 5) 健康教育計画の立案 ①テーマ ②目的、目標（ねらい、ゴール） ③方法（対象者、場所、内容、留意点） ④評価（不足する情報、実現に向けての課題など）	GW
4	君津二次保健医療圏における地域診断の展開と問題解決に向けた健康教育計画の立案 6) 健康教育で使う教材作り	GW

5 6	地域診断結果及び健康教育計画について発表し修正する	講義
7	まとめ (君津二次保健医療圏内での個人および集団に対する健康教育や看々連携)	講義
8	試験	

【テキスト・参考書】

『地域・在宅看護の基盤』(医学書院)

『地域・在宅看護の実践』(医学書院)

『在宅看護学』(クオリティケア)

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】在宅看護活動論

【学 年】2年次

【担当者】専任教員

【単位数】1単位

【時間数】15時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 在宅看護過程の特徴や展開方法について理解する。
2. 在宅特有の情報収集やアセスメントの視点、対象の全体像を捉えた看護計画立案について理解する。
3. 対象の意向を反映した看護計画の実施と評価・修正のプロセスについて理解する。

回	授業内容	授業方法
1	在宅看護過程の特徴と展開方法 1) 情報収集とアセスメントの視点 2) 情報の整理と統合（対象の全体像の捉え方） 3) 健康問題の明確化と目標設定 4) 看護計画立案（意向確認と計画修正） 5) 実施と評価・修正 6) 訪問時の行動計画	講義
2	継続看護事例を用いた看護過程の展開 1) イメージマップの作成	GW
3	継続看護事例を用いた看護過程の展開 2) 看護計画の立案	GW
4	継続看護事例を用いた看護過程の展開 2) 看護計画の立案	発表
5	継続看護事例を用いた看護過程の展開 3) 訪問時の清潔ケアの援助計画	GW
6	継続看護事例を用いた看護過程の展開 3) 訪問時の清潔ケアの援助計画	演習
7	継続看護事例を用いた看護過程の展開 4) 訪問時行動計画と修正	GW
8	試験	

【テキスト・参考書】

『地域・在宅看護の基盤』（医学書院）

『地域・在宅看護の実践』（医学書院）

『在宅看護学』（クオリティケア）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】在宅看護技術

【学 年】2年次

【単位数】1単位

【時間数】15時間（1回2時間）

【担当者】専任教員

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 在宅看護に必要なとなる生活援助技術の特徴や基本について理解する。
2. 在宅看護に必要なとなる医療管理技術やそれに伴う看護について理解する。
3. 在宅医療機器の取り扱いの実際や活用できる社会資源について理解する。

回	授業内容	授業方法
1	在宅看護技術の基本 1) 面接・訪問技術 2) 生活援助技術 3) 医療管理技術	DVD 視聴 講義
2	HOT 初回訪問事例：初回訪問計画 コミュニケーション、情報収集、フィジカルアセスメント、サービス説明	GW
3	HOT 初回訪問事例：初回訪問計画のロールプレイ	演習
4	HOT 患者への訪問看護支援：機器取扱いと宅機器管理、看護（家族教育含む）	講義 演習
5	HOT 患者への訪問看護支援：清潔援助（洗髪）実施計画	GW
6	HOT 患者への訪問看護支援：清潔援助（洗髪）演習	演習
7	HPN 患者への訪問看護支援：ポンプ機器取扱いと在宅機器管理、 看護（家族教育含む）	講義 演習
8	試験	

【テキスト・参考書】

『地域・在宅看護論』（医学書院）

『在宅看護学』（クオリティケア）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 在宅ターミナルケア

【学 年】 2年次

【担当者】 専任教員

【単位数】 1単位

【時間数】 15時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 終末期を迎える在宅療養者と家族について理解する。
2. 在宅ターミナルケア各期における訪問看護支援について理解する。
3. 在宅ターミナルケアに関わる専門職との多職種連携について理解する。

回	授業内容	授業方法
1	在宅ターミナルケアの基本 1) 在宅ターミナルの考え方 2) 在宅ターミナルケアを取り巻く状況 3) 在宅ターミナルケアに関わる専門職種と連携 4) 在宅ターミナルケアに関わる諸制度や法的根拠 5) 在宅ターミナルケアの流れと各期の状況 6) 各期におけるターミナルケアの特徴 7) 在宅ターミナルケアにおける訪問看護の役割	講義
2	在宅ターミナルケア導入前からの訪問看護師による看取り教育 (ACP 意思決定支援、家族教育)	GW 講義
3	在宅ターミナルケアにおける退院支援の進め方と実際	GW 講義
4	在宅ターミナルケア導入期の訪問看護看護支援：意思決定支援や家族調整、 在宅生活を安定させるための支援	GW 講義
5	在宅ターミナルケア安定期の訪問看護看護支援：在宅ターミナル期の疼痛緩和、 症状緩和、生活の幅を広げる支援の実際	GW 講義
6	在宅ターミナルケア終末期・臨死期・死亡後：看取り準備、 家族への心理的支援、専門職が行うエンゼルケア、グリーフケア	GW 講義
7	在宅ターミナルケア、小児期・成人期・高齢者における在宅ターミナルケアと 課題	GW 講義
8	試験	

【テキスト・参考書】

『地域・在宅看護の基盤』（医学書院）

『地域・在宅看護の実践』（医学書院）

『在宅看護学』（クオリティケア）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 家族支援論

【学 年】 2年次

【単位数】 1単位

【時間数】 15時間（1回2時間）

【担当者】 非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 家族をひとつの単位として支援する訪問看護支援の必要性や支援の個別性・多様性を理解する。
2. 家族支援の実際から継続看護のあり方や多職種連携における看護師の役割について理解する。

回	授業内容	授業方法
1	ALS（難病）で人工呼吸療法を行う療養者と家族への支援：病状進行に対応した意思決定支援、医療・介護依存度の高い方への支援体制の整備、在宅医療機器管理、社会参加への支援、意思疎通手段への支援	講義 GW
2	末期がん高齢者の在宅看取り支援：ターミナル（終末）期支援、緩和ケア、看取り支援、グリーフケア、死の準備教育	講義 GW
3	若年がん患者（AYA 世代）への支援：医療と学業・就労との両立支援、親への支援	講義 GW
4	糖尿病、脳梗塞（片麻痺）の独居患者と別居する家族への支援：廃用予防、退院直後の医療・介護・生活支援、慢性期支援、ケアマネとの連携・協働	講義 GW
5	NICU を退院した医療的ケア児と家族への支援：入園入学などライフイベントに関連した支援、小児の医療管理支援、両親や兄弟への支援、レスパイト支援	講義 GW
6	認知症の高齢世帯への支援：安全・安楽な療養環境を整える支援、慢性疾患管理、高齢者の健康管理、別居家族への支援	講義 GW
7	統合失調症患者への支援：在宅での日常生活管理、薬物管理、地域移行・見守り支援	講義 GW
8	試験	

【テキスト・参考書】

『地域・在宅看護の基盤』（医学書院）

『地域・在宅看護の実践』（医学書院）

『在宅看護学』（クオリティケア）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 急性期・周手術期にある人の看護

【学 年】 2 年次

【単位数】 1 単位

【時間数】 30 時間（1 回 2 時間）

【担当者】 非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

主な疾患の急性期および、手術療法を受ける患者の看護の方法を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	消化・吸収機能障害のある患者の看護	講義
2	胃がん患者の看護	
3	胃切除術を受ける患者の看護	
4	循環機能障害のある患者の看護	講義
5	急性心筋梗塞患者の看護	
6	心臓の手術を受ける患者の看護	
7	血管内治療を受ける患者の看護	
8	脳・神経機能障害のある患者の看護	講義
9	脳卒中患者の看護	
10	開頭術を受ける患者の看護	
11	血栓溶解術を受ける患者の看護	
12	性・生殖機能障害のある患者の看護	講義
13	子宮頸がん患者の看護	
14	放射線療法を受ける患者の看護 ホルモン療法を受ける患者の看護	
15	試験	

【テキスト・参考書】

『臨床外科総論』（医学書院）

『成人看護学 5 消化器』（医学書院）

『成人看護学 3 循環器』（医学書院）

『成人看護学 7 脳神経』（医学書院）

『成人看護学 8 腎・泌尿器』（医学書院）

『成人看護学 9 女性生殖器』（医学書院）

『臨床放射線医学』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 障がいの適応と社会復帰への看護

【学 年】 2 年次

【単位数】 1 単位

【時間数】 30 時間（1 回 2 時間）

【担当者】 専任教員、非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 障害の概念と患者の特徴を理解する。
2. リハビリテーションの概念とリハビリテーション看護に共通の看護を理解する。
3. 障害別リハビリテーション看護を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	1) 障害の概念と患者の特徴	講義
2	2) リハビリテーションの概念	
	3) 機能障害のアセスメント	
3	1) 経過別リハビリテーションと看護	講義
4	2) 障がいの受容過程とその支援	
	3) 生活に活かすリハビリテーション看護	
5	運動機能障害の看護	講義
6	脊髄損傷患者の看護	
7	ALS 患者の看護	
8		
9	認知機能・コミュニケーション機能障害時の看護	講義
10	失語患者の看護	
11	高次脳機能障害患者の看護	
12		
13	内部環境調節機能障害のある患者の看護	講義
14	慢性腎不全患者の看護	
	血液透析を受ける患者の看護	
15	試験	

【テキスト・参考書】

『臨床看護総論』（医学書院）

『成人看護学総論』（医学書院）

『成人看護学 10 運動器』（医学書院）

『成人看護学 7 脳神経』（医学書院）

『成人看護学 8 腎・泌尿器』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 慢性的な経過をたどる健康障害を持つ人の看護

【学 年】 2 年次

【単位数】 1 単位

【時間数】 30 時間（1 回 2 時間）

【担当者】 専任教員、非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 対象の特性と看護の特徴を理解する。
2. 主な慢性疾患の看護を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	1) 慢性疾患とは 2) 慢性疾患の特徴 3) 慢性疾患の治療の特徴と看護 4) 急性増悪の要因と予防	講義
2	呼吸機能障害のある患者の看護	講義
3	慢性呼吸不全患者の看護	
4		
5	循環機能障害のある患者の看護	講義
6	慢性心不全患者の看護	
7	内部環境調節機能障害のある患者の看護	講義
8	糖尿病患者の看護	
9		
10	栄養摂取・代謝障害時の看護	講義
11	肝硬変患者の看護	
12	身体防御機能の障害のある患者の看護	講義
13	HIV 感染者の看護	
14	白血病患者の看護 骨髄移植を受ける患者の看護	
15	試験	

【テキスト・参考書】

『成人看護学総論』（医学書院）

『成人看護学 2 呼吸器』（医学書院）

『成人看護学 3 循環器』（医学書院）

『成人看護学 6 内分泌・代謝』（医学書院）

『成人看護学 5 消化器』（医学書院）

『成人看護学 11 アレルギー・膠原病・感染症』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 高齢者の生活支援

【学 年】 2 年次

【担当者】 専任教員

【単位数】 1 単位

【時間数】 30 時間（1 回 2 時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 加齢や健康障害で生じる影響をアセスメントし生活機能を整えるための看護を理解する。
2. 老年期特有の症状・疾患・機能障害を持つ高齢者の健康回復に向けた看護を理解する。
3. 高齢者のリスクマネジメントについて理解する。

回	授業内容	授業方法
1	日常生活を支える基本的活動	講義
2	1) 生活の基本となる日常生活動作	GW
3	(1) 基本動作・基本姿勢	演習
4	(2) 日常生活活動（動作）の評価	
5	・ ADL 評価指標・ IADL 評価指標	
6	2) 転倒のアセスメントと看護	
	3) 高齢者の食事・食生活	
	(1) 高齢者における食生活の意義	
	(2) 高齢者に特徴的な変調	
	(3) 食生活のアセスメント	
	・ 食事環境・摂食嚥下能力・栄養状態	
	(4) 食生活の支援	
	・ 食事前・中・後のケア	
	4) 高齢者の排泄の基本	
	(1) 高齢者の尊厳をまもる排泄ケア	
	(2) 排尿・排便障害のアセスメントとケア	
	5) 高齢者に生じやすい清潔に関する健康課題	
	(1) 清潔のアセスメント	
	(2) 安全・自立を支える清潔援助	
	6) 高齢者と生活リズム	
	(1) 高齢者に特徴的な変調	
	(2) 生活リズムを整える看護	
	7) コミュニケーション	
	(1) 高齢者とのコミュニケーションと関り方の原則	
	(2) 高齢者の状態状況に応じたコミュニケーションの方法	
7	検査・治療を受ける高齢者の看護	講義
8	1) 高齢者が受けることの多い検査	GW
	2) 円滑な検査実施への援助	演習

9	健康逸脱からの回復を促す看護	講義 GW
10	1) 症候のアセスメントと看護	
11	(1)発熱 (2)痛み (3)掻痒 (4)脱水	
12	(5)嘔吐 (6)浮腫 (7)倦怠感	
13	高齢者のリスクマネジメント	講義 GW
14	1) 高齢者と医療安全 1) 高齢者に起こりやすい事故	
15	試験	

【テキスト・参考書】

『老年看護学』（医学書院）

『老年看護 病態 疾患論』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験 提出物 出席状況

授 業 概 要

【授業科目名】機能障害をもつ高齢者の看護

【学 年】2 年次

【担当者】専任教員、非常勤講師

【単位数】1 単位

【時間数】30 時間（1 回 2 時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 機能障害を持つ高齢者の機能維持・生活の質向上にむけた看護を理解する。
2. 最後までその人らしさを保ち尊厳をまもるための看護が理解できる。
3. 地域資源の活用および施設の役割と求められる看護について理解する。
4. 生活機能から見た老年看護・目標志向型思考による看護の展開を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	1. 機能変性・低下を持つ高齢者の看護 パーキンソン病患者の看護	講義
2 3	2. 合併症・二次的弊害の予防に向けた看護 大腿骨近位部骨折患者の看護	講義
4 5	3. 障害を伴う高齢者の生活再構築と自立（自律）を支える看護 脳卒中患者の看護	講義 演習
4 5	4. 嚥下機能障害のある高齢者の看護	
6 7 8 9	5. 最後までその人らしさを保つための看護 認知症患者の看護 1) 認知症とは・認知症者の統計的動向 2) 高齢者の認知症の病態と要因 3) 認知症の治療と援助 4) 周辺症状と生活への影響とアセスメント・生活支援	講義
10 11 12	6. 保健医療施設・保健医療福祉施設における看護 1) 高齢者保健医療福祉の変遷 2) 高齢者の権利擁護 3) 保健医療福祉施設および居住施設における看護 (1)介護保険施設の基本的役割と求められる看護	講義
13 14	7. 老年看護過程（生活機能から見た老年看護目標志向型思考による事例展開）	事例を用いた演習 GW
15	試験	

【テキスト・参考書】

『老年看護学』（医学書院）

『老年看護 病態 疾患論』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験 提出物 出席状況

授 業 概 要

【授業科目名】 小児看護学概論

【学 年】 2 年次

【担当者】 専任教員

【単位数】 1 単位

【時間数】 30 時間（1 回 2 時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 小児医療と小児看護の変遷と課題を理解し、子どもの権利を理解する。
2. 現代の子どもを取り巻く社会資源の活用を理解する。
3. 小児の成長・発達の原則と影響因子を理解する。
4. 子どもの成長・発達のアセスメントを理解する。
5. 小児各期における健康増進のための子どもと家族への看護を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	小児看護の対象理解 1) 小児看護の目標と役割 2) 小児と家族の諸統計 3) 小児看護の変遷 4) 現代の小児看護 5) 小児医療、看護における倫理	講義 GW
2	小児看護の課題を理解する 1) 社会の変化と小児看護 2) 小児看護の専門分化 3) 疾病構造の変化と他職種との連携、 4) 子どもの権利の保護	講義
3	子どもの権利を理解する 1) 現代社会と子どもの権利 2) 小児医療と子どもの権利 3) 小児救急医療、 4) 子どもの臓器移植 5) 小児看護と倫理的配慮	講義
4 5	児童福祉法を理解する 1) 児童福祉の変遷 2) 母子保健 3) 現在の母子保健 4) 医療費の支援 5) 予防接種 6) 学校保健 7) 食育 8) 特別支援教育	講義

6	成長・発達を理解する	講義	
7	1) 成長・発達の概念 2) 成長・発達の原則 3) 成長・発達に影響する因子 4) 発達課題と発達理論		
8	形態的成長と機能的発達の評価を知る		講義
	1) 身体発育の評価 2) 発達検査 3) 心理・社会的発達の評価 4) 養育環境		
9	各期の成長・発達に応じた子どもと家族生活への支援	講義	
10	1) 新生児		
11	2) 乳児期		
12	3) 幼児期		
13	4) 学童期		
14	5) 思春期		
15	試験		

【テキスト・参考書】

『小児看護学概論』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 小児特有の診療に伴う看護

【学 年】 2 年次

【担当者】 非常勤講師

【単位数】 1 単位

【時間数】 30 時間（1 回 2 時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護を理解する。
2. 病気・障害をもつ子どもと家族の看護を理解する。
3. 小児期特有の症状を示す子どもの看護を理解する。
4. 小児の成長・発達に応じた小児看護技術を理解する。
5. 処置・検査時に子どもの安全・安楽を考えた看護技術を理解できる。

回	授業内容	授業方法
1 2	1. 入院中の子どもと家族の看護 1) 入院環境と看護の役割 2) 入院中の子どもと家族の特徴 3) 入院中の子どもと家族の看護 2. 外来における子どもと家族の看護 1) 子どもを対象とする外来の特徴と看護の役割 2) 外来の環境 3) 外来受診する子どもと家族の特徴 4) 外来における子どもと家族の看護 ・小児外来の特徴・外来の機能・環境 5) 感染対策上隔離が必要な子どもと家族の看護 3. 在宅療養中の子どもと家族の特徴 1) 在宅療養中の子どもと家族の看護 4. 災害時の子どもと家族の看護 1) 被災地の環境と看護の役割 2) 災害時の子どもと家族の特徴 3) 災害時の子どもと家族の看護	講義 G W DVD 視聴
3 4 5	1. 病気・障害が子どもと家族に与える影響 1) 病気に対する子どもの理解の特徴 ・子どもの理解に関係する要因 2) 子どもの健康問題と看護 ・健康問題をもつ子どもと家族の看護 ・治療における意思決定の支援 ・インフォームドアセント ・プレパレーション 3) 発達段階に即したセルフケアの支援 4) 子どもの日常生活にかかわる看護	講義 G W DVD 視聴

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣の確立 ・ 遊び、学習、友人との交流の支援 ・ 社会生活の支援 <p>5) 健康問題をもつ子どもの家族の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親の支援 ・ きょうだい（同胞）の支援 ・ 家族関係の調整と社会資源の活用 	
6 7 8	<p>1. 不機嫌、啼泣</p> <p>2. 痛み、</p> <p>3. 呼吸困難、チアノーゼ</p> <p>4. ショック、意識障害</p> <p>5. 痙攣、発熱</p> <p>6. 嘔吐、下痢</p> <p>7. 便秘、脱水</p> <p>8. 浮腫、出血、貧血</p> <p>9. 発心、黄疸</p> <p>10. それぞれの症状を伴う子どもの看護</p>	<p>講義 GW DVD 視聴</p>
9 10 11	<p>1. 子どもにとっての検査・処置を受ける子どもの看護</p> <p>1) 与薬方法、輸液方法</p> <p>2) 検体採取（採尿方法）</p> <p>3) 採血（採血時の子どもの支え方）</p> <p>4) 骨髄穿刺、腰椎穿刺</p> <p>5) 清潔、排泄</p> <p>6) 呼吸症状の緩和（酸素療法、吸引、吸入療法）</p>	<p>講義 演習 DVD 視聴</p>
12 13 14	<p>1. 小児の成長・発達に応じた小児看護技術を理解する</p> <p>1) 坐薬、内服薬の方法</p> <p>2) 採尿パックの方法</p> <p>3) 子どもの支え方</p> <p>4) 骨髄穿刺、腰椎穿刺 DVD</p> <p>5) 陰部洗浄、おむつの変え方</p> <p>6) 酸素、吸引、ネブライザー DVD</p> <p>事例を基にプレパレーション技術を実践する</p>	<p>講義 DVD 視聴</p>
15	試験	

【テキスト・参考書】

『小児看護学各論』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】小児特有の疾患の理解と子どもの看護

【学 年】2年次

【担当者】非常勤講師

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 胎児、新生児の生理と病態生理を通し、各疾患を理解する。
2. 小児の特有な疾患の病態整理と検査・治療方法を理解する。
3. 小児外科疾患の特徴と治療方法が理解できる。
4. 慢性疾患をもつ子どもの看護を理解する。
5. 外科的疾患をもつ子どもの看護を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 染色体異常。体内環境により発症する先天異常 <ol style="list-style-type: none"> 1) 胎児発育に影響をおよぼす因子 2) 子宮内胎児発育遅滞（IUGR） 3) 先天性疾患・先天奇形（遺伝子病・配偶子病・染色体異常） 4) 常染色体異常 5) 性染色体異常 6) 胎芽病と胎児病 2. 新生児の疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 分娩損傷 2) 適応障害 ①新生児仮死 ②PPHN ③TTN ④新生児メレナ ⑥新生児黄疸 3) 低出生体重児の疾患 4) 成熟異常 3. 代謝性疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 新生児マススクリーニング 2) 先天代謝異常症 3) 代謝性 4) 感染症・皮膚病変・感染症の臨床所見および治療 5) 新生児に認められる皮膚病変 6) 新生児中毒性 7) 紅斑 8) 新生児にきび 9) 中心性紅斑 10) いちご状血管腫 	講義
2	<ol style="list-style-type: none"> 4. 呼吸器疾患 胎児新生児の呼吸生理・胎児の呼吸の特徴 <ol style="list-style-type: none"> 1) 新生児の呼吸への変換 2) 呼吸障害の症状：多呼吸・呻吟・無呼吸・陥没呼吸 3) RDS：症状・診断・治療 4) MAS：診断・治療 5) エアリーク症候群：症状・診断・治療 6) CLD：診断・治療 5. 循環器疾患 循環系の適応生理 先天性心疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 心奇形以外による心不全 (PDA：発症因子・臨床所見・診断・治療) 胎児循環遺残症：症状・診断治療 6. 血液疾患 <ol style="list-style-type: none"> 1) 造血機能の発達とヘモグロビン 2) 貧血（生理的貧血・未熟児貧血・失血・溶血による貧血） 7. 神経系疾患・栄養、代謝 <ol style="list-style-type: none"> 1) 新生児痙攣：病態・診断・治療 	講義

	<ul style="list-style-type: none"> 2) 低酸素性虚血性脳症：病態・症状・治療 3) 頭蓋内出血 4) 未熟児の脳障害（脳室内出血：発症原因 5) 脳質周囲白質軟化症：発症原因・診断・臨床症状 	
3 4	<ul style="list-style-type: none"> 1. 出生前の看護 2. 出生後の看護 3. 疾患をもった子どもの看護 <ul style="list-style-type: none"> 1) ダウン症候群の子どもの看護 2) 18トリソミー症候群の子どもの看護 3) 低出生体重児の看護（NICU、GCU看護） 閉鎖型保育器の取り扱い方法等 4) 新生児仮死が認められる子どもの看護 5) 高ビリルビン血症の新生児の看護 6) 1型・2型糖尿病をもつ子どもの看護 <p>※必要に応じ小児演習室を使用する</p>	講義
5 6	<ul style="list-style-type: none"> 1. 感染症の病態生理と検査・治療法 <ul style="list-style-type: none"> 1) 麻疹 2) 風疹 3) 流行性耳下腺炎 4) 水痘 5) 百日咳 6) 髄膜炎 7) ポリオ 2. 予防接種法 3. 呼吸器感染症の病態生理と検査・治療法 <ul style="list-style-type: none"> 1) 肺炎 2) 気管支炎 3) マイコプラズマ肺炎 4) 検査・治療方法の所見 	講義
7	<ul style="list-style-type: none"> 4. 内分泌疾患の病態生理と検査・治療方法 <ul style="list-style-type: none"> 1) 1型・2型糖尿病 2) 先天代謝異常 3) 検査・治療方法の所見 	講義
8	<ul style="list-style-type: none"> 5. 免疫疾患、アレルギー性疾患の病態生理と検査・治療方法 <ul style="list-style-type: none"> 1) 気管支喘息 2) 食物アレルギー等 3) 検査・治療方法の所見 	講義
9	<ul style="list-style-type: none"> 6. 循環器疾患の病態生理と検査・治療方法 <ul style="list-style-type: none"> 1) 川崎病 2) 先天性心疾患 3) SIDS 4) 検査・治療方法の所見 	講義
10 11	<ul style="list-style-type: none"> 1. 代謝性疾患と看護 2. 内分泌疾患と看護 3. 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患と看護 4. 感染症と看護 5. 呼吸器疾患と看護 6. 循環器疾患と看護 	講義

12	1. 消化器疾患の病態生理と検査・治療法	講義
13	1) 新生児期（食道閉鎖・小腸閉鎖・鎖肛・横隔膜ヘルニア） 2) 乳児～幼児期（先天性、後天性の疾患が混在する ソケイヘルニア・胆道閉鎖・腸重積・ピロステなど） 3) 学童期（急性虫垂炎） 4) 小児外科的疾患の術前術後管理 2. 口腔疾患 3. 呼吸器疾患 4. 食道の疾患 5. 胃・十二指腸の疾患 6. 肝臓・胆道の疾患 7. 膵臓疾患	
14	1. 小児の救急処置 1) 気道の確保・人工呼吸・心臓マッサージ、点滴確保 2. 外傷 1) 頭部外傷 2) 胸部外傷 3) 腹部外傷 4) 消化管損傷 5) 熱傷 6) 異物誤飲（中毒・固形異物）	講義
15	試験	

【テキスト・参考書】

『小児看護学各論』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 妊産婦と家族の看護

【学 年】 2 年次

【担当者】 非常勤講師・専任教員

【単位数】 1 単位

【時間数】 30 時間（1 回 2 時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 妊娠・分娩・産褥期の正常な経過を理解する。
2. 妊婦・胎児のアセスメントおよび妊婦と家族への看護を理解する。
3. 産婦・胎児のアセスメントおよび産婦と家族への看護を理解する。
4. 妊娠・分娩・産褥期の健康問題を理解する。
5. 妊娠・分娩期の健康問題に対する看護を理解する。

回	授業内容	授業方法
1 2 3 4	1. 妊娠・分娩・産褥期の身体的変化	講義
5 6 7	1. 妊娠各期の変化と保健指導 1) 妊婦と家族の心理・社会的変化 2) 妊婦・胎児のアセスメント 3) 妊婦と家族の看護 ①妊婦健康診査 ②妊娠各期の保健指導 ③親になる準備教育	講義
8 9 10	1. 分娩各期の看護 1) 産婦の心理・社会的変化 2) 産婦・胎児・家族のアセスメント 3) 産婦と家族の看護	講義
11 12	1. 妊娠・分娩・産褥期の健康問題 1) 切迫流早 2) 妊娠悪阻 3) 妊娠期の感染症 4) 前置胎盤 5) 妊娠高血圧症候群 6) 妊娠糖尿病 7) 多胎妊娠 8) 胎児機能不全 9) 陣痛異常	講義

13	1. 妊娠・分娩期の健康問題に対する看護	講義
14	1) 妊娠貧血 2) 切迫流早産 3) 妊娠高血圧症候群 4) 前期破水	
15	試験	

【テキスト・参考書】

『母性看護学2各論（医学書院）』

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 褥婦・新生児と家族の看護

【学 年】 2年次

【担当者】 非常勤講師・専任教員

【単位数】 1単位

【時間数】 30時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 褥婦のアセスメントと褥婦と家族への看護を理解する。
2. 産褥期の健康問題に対する看護を理解する。
3. 早期新生児のアセスメントと新生児と家族への看護を理解する。
4. ウェルネス志向を中心に事例展開を通して母性看護学の看護過程を理解する。
5. 母性看護学に特有な看護技術が習得できる。

回	授業内容	授業方法
1	1. 産褥期の看護	講義
2	1) 褥婦と家族の心理的变化	
3	2) 褥婦のアセスメント	
4	3) 褥婦と家族の看護	
5	2. 母子関係確立の援助	
	1) 育児技術	
	2) 育児支援	
	3) 職場復帰	
	3. 家族関係再構築への看護	
	1) 上の子どもへの対応	
	2) 夫への対応	
	3) 祖父母への対応	
	4. 産褥期の健康問題に対する看護	
	1) 帝王切開後	
	2) 子宮復古不全(産褥熱含む)	
	3) 乳腺炎	
	4) 産後うつ・産後精神障害	
6	1. 新生児期の看護	講義
7	1) 新生児のアセスメント	
	2) 出生直後の看護	
	3) 出生後から退院までの看護 (清潔・哺乳・感染予防・事故予防・保育環境)	
8	1. 母性看護学における看護展開	講義 演習
9	1) 妊娠期の事例展開	
10	2) 分娩期の事例展開	
11	3) 褥婦の事例展開	

12	1. 母性看護学に特有な看護技術	演習
13	1) 腹囲、子宮底の計測	
14	2) 呼吸法・産痛緩和 3) 授乳 4) 沐浴	
15	試験・まとめ	

【テキスト・参考書】

『母性看護学2各論』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験 レポート

授 業 概 要

【授業科目名】 精神疾患を抱える人の看護

【学 年】 2年次

【担当者】 非常勤講師

【単位数】 1単位

【時間数】 30時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 精神看護の対象を理解し、精神看護における安全管理を理解する。
2. 経過別における看護の基本を理解する。
3. 退院支援から退院後の生活支援について理解する。
4. 特徴的な精神症状を持つ人の看護を理解する。
5. 身体合併症患者の症状と看護を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	精神疾患患者と家族の理解	講義
2	入院時の患者・家族へのケア	
3	安全な治療環境の提供と人権擁護 病棟環境 自殺・自殺企図 暴力 転倒 誤嚥・窒息 身体隔離・拘束 無断離院等	
4	急性期における看護	講義
5	急性期から回復期の移行期における看護	
6	慢性期の看護	
7	退院支援プログラムの理解 退院後の生活支援の理解	講義
8	幻覚・妄想の患者の看護	講義
9	抑うつ状態の患者の看護	
10	躁状態の患者の看護	
11	興奮状態の患者の看護	
12	自殺・自傷行為がある患者の看護	
	不眠状態の患者の看護	
	依存状態の患者の看護（アルコール・薬物）	
	不安状態の患者の看護	
	意欲減退状態の患者の看護	
	強迫行為のある患者の看護	
	摂食行動障害の患者の看護	
13	肺血栓塞栓症患者の看護	講義
14	誤嚥性肺炎（誤嚥・窒息含む）患者の看護	
	水中毒患者の看護	
	悪性症候群（横紋筋融解症を含む）患者の看護	
	麻痺性イレウス（巨大結腸症を含む）患者の看護	

15	試験	
----	----	--

【テキスト・参考書】
『精神看護学Ⅱ』（ヌーヴェルヒロカワ）

【成績評価方法】
筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 精神疾患を抱える人の看護展開

【学 年】 2 年次

【担当者】 専任教員

【単位数】 1 単位

【時間数】 30 時間（1 回 2 時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 精神科看護師の役割を理解する。
2. 精神看護におけるセルフケアの援助を理解する。
3. 精神疾患を抱える人の生きる力と強さを理解する。
4. 事例を用いて精神疾患患者の看護展開を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	1. 精神科看護学の理解 2. 精神科看護師の役割 3. 援助の基本となる患者 - 看護師関係の理解	講義
2	1. セルフケアの定義	講義
3	2. セルフケア理論の理解	
4	3. その人らしい生活への援助	
5	1) 日常生活動作能力の判断 ①食事・水分・服薬 ②呼吸 排泄 清潔と身だしなみ 活動休息 ③対人関係	
6	1. ストレングス 2. リカバリ 3. エンパワメント	講義
7	1. 特徴的な疾患の事例展開	講義 GW
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	筆記試験	

【テキスト・参考書】

『精神看護学Ⅰ』（医学書院）

『精神看護学Ⅱ』（ヌーヴェルヒロカワ）

【成績評価方法】

筆記試験 レポート課題

授 業 概 要

【授業科目名】周手術期の看護

【学 年】2年次

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

【担当者】専任教員、非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 周手術期にある対象および看護の特徴を理解する。
2. 手術療法を受ける患者の回復を促進するための看護方法を理解する。
3. 発達段階に応じた周手術期の看護を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	周手術期看護の特徴	講義
2	麻酔とは、麻酔の種類と術前・術中・術後の管理	講義
3	全身麻酔と局所麻酔の合併症	
4	手術の侵襲と生体反応	
5	手術後の合併症	講義
6	手術前の患者の看護	
7	手術中の患者の看護	講義
8	手術後の患者の看護	講義
9		実習
10	外来の日帰り手術	講義
11	手術を受ける高齢者の看護	講義
12	手術を受ける小児とその家族への援助	講義
13	帝王切開を受ける産婦の看護	講義
14		
15	試験	

【テキスト・参考書】

『臨床外科看護総論』（医学書院）

『老年看護学』（医学書院）

『小児看護学概論』（医学書院）

『成人看護学総論』（医学書院）

『母性看護学各論』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】薬物療法を受ける人の看護

【学 年】2年次

【単位数】1単位

【時間数】20時間（1回2時間）

【担当者】専任教員、非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 薬物治療における対象への看護を理解する。
2. 発達段階に応じた薬物治療を受ける対象への看護を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	薬物療法と看護の基礎知識	講義
2	化学療法の特徴と看護	
3	ホルモン療法等の特徴と看護	
4	加齢に伴う薬物動態の変化・高齢者に特徴的な薬物有害事象・ 老年症候群と薬物有害事象	講義
5	統合失調症薬物療法	講義
6	うつ病への薬物療法	
7	慢性的疾患をもつ子どもの薬物療法と看護	講義
8	薬物の経胎盤・母乳移行	講義
9	母性の代表的な薬物療法と看護	実習
10	試験	

【テキスト・参考書】

『成人看護学総論』（医学書院）

『臨床外科看護総論』（医学書院）

『老年看護学』（医学書院）

『小児看護学概論・小児臨床看護総論』（医学書院）

『母性看護学各論』（医学書院）

『精神看護の基礎』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】保健行動を促す看護

【学 年】2年次

【担当者】専任教員

【単位数】1単位

【時間数】30時間（1回2時間）

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 健康の保持増進・疾病の予防をするための保健医療福祉システムを理解する。
2. 疾病の受容過程に応じた自己管理に向けての援助方法を理解する。
3. 発達段階に応じた保健指導について理解する。
4. 保健指導の方法について理解する。

回	授業内容	授業方法
1	成人への看護アプローチの基本 意思決定支援	講義
2	健康日本 21、ヘルスプロモーション	
3	病みの軌跡、自己効力、危機、セルフケア理論	
4		
5		
6	老年期のヘルスプロモーション	講義
7	老年看護における理論 (サクセスフルエイジング・ストレングスモデル)	
8	学校保健について	講義
9		
10	ヘルスプロモーション・健康教育・保健相談	講義
11		
12	保健指導演習〔事例を使って保健指導を考える〕	GW 発表
13		
14		
15	試験	

【テキスト・参考書】

『成人看護学総論』（医学書院）

『老年看護学』（医学書院）

『小児看護学概論・小児臨床看護総論』（医学書院）

『母性看護学各論』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 終末期にある人の看護

【学 年】 2 年次

【単位数】 1 単位

【時間数】 30 時間（1 回 2 時間）

【担当者】 専任教員、非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 終末期にある対象および看護の特徴を理解する。
2. 終末期にある人への苦痛の緩和と QOL を高めるための看護の方法を理解する。
3. 子どもや子どもを失う対象やその家族への看護を理解する。
4. 看取りの看護や死後の援助を理解する。
5. 対象の死について考え、死生観を養う。

回	授業内容	授業方法
1	終末期の概念と看護、受容過程 倫理的課題	講義
2	QOL を高めるための看護（ACP、デスエデュケーション）	
3	家族の受容過程と家族の持つ苦悩と支援	
4	緩和ケア、ターミナルケア、ホスピスケア、エンドオブライフケア、ケアリング	
5	成人期（働きざかりの人）の終末期の看護	
6	高齢者におけるエンドオブライフケア・意思決定への支援・高齢者の尊厳を	
7	守るための支援	
8	終末期にある子どもと家族の看護	講義
9	死産をした家族への看護	講義
10	看取りの看護・死後のケア（エンゼルケア）	講義
11		
12	死生観演習〔事例を通して各自が自己の死生観を養う〕	講義 GW
13		
14		
15	試験	

【テキスト・参考書】

『成人看護学総論』（医学書院）

『老年看護学』（医学書院）

『小児看護学概論・小児臨床看護総論』（医学書院）

『母性看護学各論』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 急性期の看護

【学 年】 2年次

【単位数】 1単位

【時間数】 15時間（1回2時間）

【担当者】 非常勤講師

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 急性期にある対象および看護の特徴を理解する。
2. 発達段階に応じた急性期の看護を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	侵襲に対する生体反応、生命危機状態	講義
2	急性期の特徴と看護	講義
3	ショック・熱傷・感染症	
4	高齢者の救急搬送の特徴と実態	講義
5	妊産婦の異常出血時の看護	講義
6	急性期にある子どもと家族の看護	講義
7	非自発的入院の患者の看護	講義
8	試験	

【テキスト・参考書】

『成人看護学総論』（医学書院）

『臨床外科看護総論』（医学書院）

『老年看護学』（医学書院）

『小児看護学概論・小児臨床看護総論』（医学書院）

『母性看護学各論』（医学書院）

『精神看護の基礎』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験

授 業 概 要

【授業科目名】 家族看護

【学 年】 2年次

【単位数】 1単位

【時間数】 15時間（1回2時間）

【担当者】 専任教員

（当該領域の実務経験あり）

【学習目標】

1. 家族看護の目的と特徴を理解する。
2. 困難を抱える対象と家族への看護を理解する。

回	授業内容	授業方法
1	「家族看護とは」	講義
2	家族システム論 家族の健康と看護、役割変化と家族の役割、家族の健康維持への援助家族の特徴とアセスメント	
3	母性・父性・親性の発達	講義
4	妊婦を取り巻く家族の適応過程	
5	子どもにとっての家族（虐待と看護）	GW
6	治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護	講義
7	精神疾患患者を抱える家族の看護	講義
8	試験	

【テキスト・参考書】

『家族看護学』（医学書院）

【成績評価方法】

筆記試験